

『自立支援法が重荷？ 母娘心中事件』の報道に接して」へのコメント

当 HP の「『自立支援法が重荷？ 母娘心中事件』の報道に接して」を目にしていた方から、早速コメントをいただきましたので、参考までに紹介します。

2006. 4. 25. 阿部幸泰

①-1

危惧してたことが現実に…。乱暴な自立支援法。

制度として導入したからには、このような悲惨なケースを起こさない施策を国側はしなければなりません。

阿部さんがおっしゃっていた苦しいと訴える、きちんと受けとめるやりとりがなされていないですね。

福祉に携わる職員の怠慢ですよ。職員である前に人としてなっていないですね。腹が立ちました。

ここまで追い詰めた制度、地域社会なんとかせねばまだまだ悲劇は起きますよね。

老人問題にも言えること。「孤独死」の問題。

人が人に無関心すぎますよね。

①-1 への私の返信

金八先生流に云えば、人と人の間と書いて「人間」。自分自身を知るにも、自分の幸せを感じるにも、人と係わり合わないよね。

日頃人と係わり合うことを避けておきながら、「自分は寂しい」という。現代人は勝手過ぎますよね。

まあ、私などは、あまりにも厚かましく係わろうとし過ぎかも知れませんがね（笑）。

①-2

そうなんですね。関わるのはやっかいで面倒です。

私も樂したいほうなんですけど…。なれのはては「孤独死」なんです。

自分から発信して交流せねばだめですね。日々の努力ですね。

人と関わるからいろんな発見や学びがあるとおもいますが…。

①－２への私の返信

やはり、自分の幸せは自分でそれなりに努力が必要ですよね。

今の世の中、あまりにも他力本願な人が多いですよね。

私は単純明快に、人の生きる喜びは、人と係わる喜びと知らないことを知っていく喜びの、この２つしかないと思っています。

後は全てその目的のための手段と思っています。

そうなのに、その手段が目的と勘違いして、お金や地位を得ることが喜びと勘違いしている。

それらを手に入れても、やはり「寂しい」という。本当に勝手なものです。

私はたくさんの友人、知人、メル友がいますので、たくさん、たくさん喜びをいただいています。

あなたもその一人、ありがとうございます。

②行政と地域住民との関わりは確かに薄れていると思います。

おそらく組織的な要因としては、業務のしわ寄せが地方に及んでいること、定員削減等が挙げられますが、職員一人ひとりのプロ意識が希薄になっているようにも感じられます。

また、一律的な人事異動も弊害だと思います。

中核になる職員を専門職として養成するとか、人事異動のサイクルを多少長くする等の措置を講じていかないと、地域住民も知らない、担当職員も知らないということが生じ、

極端な話として、「職員は相談を受けても、何を相談されているか分からない」ということが現実として起こっているのでしょう。

私としては、こういったことを「対岸の火事」と思わずに、国民の視点に立って業務を遂行する必要があると改めて感じたところです。

②への私の返信

行政マンに拘わらず、今は益々マニュアル化した社会だけに、マニュアル以外に気配りができないのでしょうかね。

マニュアルがあれば、面倒なことを考える必要ないですね。

ですから、学生に「思うだけではダメ。なぜ自分はそう思うかを考えろ！」と指導しています。

例えば、障害児のビデオを見て、「可哀想、気の毒、自分はそうでなくて良かった」と思うのは、自由。

では、「何をもって自分自身は可哀想と思っているのか、そこを考えろ！自分に問え！」と話しています。

そこを自分自身で考えることが知恵となりますよね。

今の時代、知識、情報は溢れています。

しかし、それらを自分はどう考えればいいのかの知恵はなさそう。

考えようとしなから、溢れる情報も素通りしてるだけでないかな。

ですから、考えるヒントを呈示するのは、先に生まれた人間の役割かなと思っています。

私が HP で厚かましく発信しているのも、読む人が何かを考える切っ掛けになってくれればとの願いからです。

最近は更に、考えるとはどういう作業（営み）かを理解してもらいたく、「雑学 BN」の「メル友関係」P には、一つの記事を切っ掛けとしてメル友とのやりとりをも載せるように努めています。

メル友への返信で文章を作る過程で、自分の思っていることが整理されて、自分の一つの考えに纏まって行く作業の機会をいただいています。

文章を作るということは、自分の持っている知識（言葉等）や情報から取捨選択して、自分の思うこと、思っていることをどの言葉を使って文にするかという思考を伴いますものね。

こうした作業を伴うメールのやりとりのお陰で、私は本当にたくさんの考える機会をいただいています。

「考えること」、「思考すること」も、人との係わり合いがあってこそ、とつくづく思っています。

いうまでもなく、自分自身で考えるには、それなりの知識、情報をもっていなくてはなりませんから、いわゆる勉強は必要ですよ。

言い換えれば、情報が溢れる今の時代だからこそ、考える切っ掛けはたくさんある、とも解釈できるかな。

あれこれ、「今の若い者は……」とグチっても何も生まれませんものね。

まずは自分で出来そうなことを試みて行きたいと思っています。